

施策番号	1101		
施策名	京都で学び、住み続けたいとなる「大学のまち」の実現		
概要	世界中の学生が学びたいとなる「大学のまち京都」を実現するため、大学施設の拡充と市内への回帰を促すとともに、個性あふれる大学が集積している利点を生かして、「学びの環境」を充実する。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	
上位政策	11 大学		
施策に関する主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019-2023		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合(%)	b	b	94	94	100.0	94.0%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成30年度	令和元年度							令和2年度※
			評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1	京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	a	a	166 24.5%	327 48.3%	131 19.4%	40 5.9%	13 1.9%	677	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	☐ 客観指標	学生や市民が京都で学び住み続けたいなることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都鉄道博物館や京都国際マンガミュージアム等、京都を代表する関心が高い施設において、「京都ミュージアムPBL科目（※PBL：課題発見・解決型学習）」を開講（令和2年度～）するなど、大学間連携の仕組みを活用した、単位互換科目の魅力を向上させていくことにより、単位互換制度への参加について、大学・短期大学に呼びかけを行っていく。

施策名	1101	京都で学び、住み続けたいとなる「大学のまち」の実現				
指標名	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合（％）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2－3 1 0 3		
1 指標の説明						
大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた「学びの環境」の充実状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：（公財）大学コンソーシアム京都，事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	94	94	増減なし	100	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	94.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	100%	令和2年度	94.0%	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：95%以上～100% b：90%以上～95%未満 c：85%以上～90%未満 d：80%以上～85%未満 e：80%未満			6 基準説明			
			・目標値から5%刻みでa～e評価			
7 評価結果						
平成30		令和元		令和2		
b		b		b		